

プラザ通信

こんにちは、
プラザ通信です。
まちづくり市民交流プラザの
いろいろな話題や情報をお届
けに上がりました。

あんなこんな交流

学んだ成果を生かして「企画・運営講座」を実施しました

今年1月、まちづくり市民交流プラザを会場に3つのイベントを開催しました。このイベントは昨年度に当プラザで「ブランナー養成講座」や「ファシリテーター養成講座」を修了した受講生15人が、その学んだ成果を生かして企画・運営したものです。

昨年8月、各自がやってみたいことを企画書にして持ち寄りプレゼンテーション。この15企画を3企画に絞り込んでいきました。そして15人が希望の企画を選び3チームに分かれ、この企画を実現するための準備を整えました。その後は毎月2回以上の集まりを持ち、適宜アドバイザーによる助言を受けながら、企画会議を重ね、直前には入念なりハールサルをして本番に臨みました。

今回実践した3企画の提案者より、実践を終えての報告をしてみました。

PART I 広島コンテンツ産業で働くということ

企画・運営ⅡH I R O M A (6人)
近年広島ではアニメーションを中心としたコンテンツ産業を新しい産業として位置づけていくという動きがあります。そのコンテンツ産業で働くことはどういうことなのか、特に若い人に知ってもらう！と企画提案しました。

この企画に賛同した6人でH I R O M A (広島コンテンツ産業研究委員会)を結成し、イベントまでの間は毎週集まり、各自が得意分野を生かしながら、準備を進めていきました。時に意見が合わないこともありましたが、しっかりとお互いの意見を聞くことで全員が方向を共にし、紆余曲折を経ながら開催にこぎつけ



第2部トークセッションの様子

イベントの第1部では、有限会社R O C K E T S の納島社長を講師に迎え、広島で働くことについての講演をしていただき、第2部では、グループに分かれ、広島で何ができるのか？どのようなことをやりたいのか？などのテーマを設け、若者の視点から意見を出してもらったトークセッションを行いました。ここではH I R O M A のメンバーが一人ずつファシリテーターとしてグループに入り、参加者の意見を引き出し、整理していききました。初めて経験するメンバーもあり、ファシリテーションが難しい場面もありましたが、アンケート結果から、参加者、特に若い人たちにはある程度刺激になったようで、開催して良かったと思っています。

私たちは今後も広島コンテンツ産業の活性化をテーマに、主に若い人たちに対して広島コンテンツ産業で働くことへの意識の向上につながる企画を提案していき、地域にコンテンツ産業を根付かせていけるような活動ができればと考えています。(代表 福田勉)

PART II 新春マナーかるた取り大会

企画・運営ⅡG r o u p 遊ぶ友々々4人
現在は科学技術の進歩、情報化、少子高齢化など社会環境が大きく変化しさまざまな課題が生じています。

価値観の変化により日本社会



かるた取り大会は白熱しました

に受け継がれてきた良き習慣、伝統が減少しています。そのひとつはマナーを意識しない大人が増え、マナーが伝承されていないのではないかといいことです。また、親子の共同体験が少なく家族間のコミュニケーションが弱くなっています。そこで親子でかるたをつくり、かるた取りを通して「楽しみながらマナーの意識づけとその大切さを伝えていくこと」を目的にこの行事を企画しました。

募集当初は参加申込みが少なく心配しましたが、8組の親子が参加。当日はひろしま男子駅伝があり、さらには雨が降る寒い日でしたが、参加した子どもたちにはよろこんでいただけました。

終了後のアンケートには、『マナーを学んだあとのかるた取り大会だったのが目的がよくわかりよかった』『マナーについて子どもと考える機会となりよかった』などの声が寄せられ、メンバー一同感激しました。また、広島テレビ(テレビ宣言)の取材もあり、取り組んだテーマが今の社会に必要とされていることを実感しました。

この取組は市民交流プラザで学んだことを生かし、自分たちで企画・運営を行い、実践力を身につ

PART III 見つけよう！「品のいい人」になるためのテクニック

企画・運営ⅡT e a m まなぐず(5人)
目の前にあるチャンスを逃していることに気がつかない、またはチャンスを手に入れる手法を知らない…。そんな若者の現状を踏まえ「コミュニケーション能力を身に付けることにより素敵な出会いが増え、さまざまな可能性が広がることに気づいて欲しい」と願いながら進めていった企画。

何度もぶつかった課題。それは「ニーズ」。机上で進む企画者視点の内容。そこに参加者の顔は存在しない。結果、参加者が興味を惹かない一般的な内容になってしまふ。まずは参加者のニーズをアンケート等で探り、どんなゴールを目指しているのかを知ることから再出発した。

また、重要なポイントを教わった。それは企画全体に一貫性を持たせ、参加者へ常にメッセージを発信し続けること。最終的に参加者自身がゴールをつかめるように内容を練る。そのために何度も何

度も原点に戻り「目的・ねらい」をお互いに確認し共有することを常に心がけた。進むばかりではなく、迷ったら戻ってみる！ことの大切さを実感した。

何事にも共通して言えることは「誰のために何を目的とした企画」なのかイメージしつづけること。当たり前なことなのに見失いがち。この半

年の経験を生かして、今後もしろいろな企画に携わってきたい。



アイスブレイクの様子。メンバーは役割分担して司会・進行しました

―実施を終えて―
昨年8月から今年1月の実践イベント、終了後のふりかえりまでの半年間にわたり「企画・運営講座」として実施しました。毎回チームごとに議事録を作成し、欠席者へフォローしていくなどしたこと



ごみステーションで清掃用具の受け渡しをしました

発表・上演・体験	展示(体験)
・銭太鼓 ・ギターとマンドリンのアンサンブル ・子供神楽 ・手話体験 ・ボランティア人材バンク登録者による発表や体験コーナーなど	・参加団体の活動紹介展示 ・展示団体によるパソコン、ツールペイント、気功の体験など

参加者募集

まちづくり市民交流フェスタ開催！

生涯学習やボランティア、市民活動団体による活動紹介や成果発表の場として開催します。

公募によりご応募いただいた団体が、日頃の活動成果を発表します。多くの皆さまのご来場、ご参加をお待ちしています。

▼日時Ⅱ平成20年5月17日(土)、18日(日)

▼場所Ⅱまちづくり市民交流プラザ全館 ※フリースペース(一部スペースを除く)や作業室は通常どおり利用できます。

▼内容(予定)

参加団体の活動紹介展示
展示団体によるパソコン、ツールペイント、気功の体験など

・銭太鼓
・ギターとマンドリンのアンサンブル
・子供神楽
・手話体験
・ボランティア人材バンク登録者による発表や体験コーナーなど

▼日時Ⅱ①4月6日(土)27日の毎週日曜日 ②6月1日(土)29日の毎週日曜日 午後1時30分～4時30分

▼場所Ⅱ北棟6階マルチメディア実習室

▼参加費・申込Ⅱ不要

お知らせ

エル・ネットが
インターネットに移行します
南棟1階エントランスロビーに

このコーナーの申込・問合せは

まちづくり市民交流プラザ

〒730-0036 広島市中区袋町6番36号

☎545-3911 FAX545-3838

【E-mail】 m-plaza@hitomachi.city.hiroshima.jp

【URL】 http://www.hitomachi.city.hiroshima.jp/m-plaza/

※内容が一部変更となる場合がありますので、詳しくはお問い合わせください。

▼参加方法Ⅱ講座・ワークショップについては事前申込や参加費が必要な場合があります。詳しくは10頁「情報の森」に掲載しています。今後チラシや「市民と市政」などで随時広報していきます。

▼無料開放します！
パソコン20台を
自由にパソコンに触れ、インターネットなどが体験できます。会場にはITボランティアの方がいっぱいいるので、質問や相談もできます。

※講習会ではありません。またパソコンの持込みはご遠慮ください。

▼文部科学省ホームページ
(http://www.mext.go.jp/)からエル・ネットを検索

名人達人宝人

さまざまな分野の達人たちが登録している
まちづくりボランティア人材バンク。
地域活動やまちづくりのお手伝いに、
今日も、あなたのまちを達人たちがおうかがいしています。

母国ペルーでプロバスケット選手として活躍し、13年前に大阪のチームへ入団したのを機に日本へやって来たフリオさん。大阪で1年過ごした後はずっと広島で暮らし、来日以来一度もペルーに帰っていないというほどの親日家です。自動車関連の仕事をしなから、夜と休日はスペイン語やラテンダンス教室のボランティア講師を務め、今では、広島弁をあやつる情熱のペルー人として公民館などで人気講師となっています。



リズムに合わせて体を揺らせば、 元気になって幸せにもなれるんです

フリオ・セサルさん



ワールドカップ・バスケットのペルー代表として活躍したこともあるフリオ・セサルさん

に参加者をフリオさんペースに引き込んでしましました。サルサダンスでは私生活でもパートナーであるマユミさんと本場仕込みの見事なステップを披露。一気に会場は華やきます。お待ちかねの「ダンスタイム」では、基本のステップを教わって、みんなでダンスにチャレンジ。皆さんとても軽やかな動きで、体はポカポカ、会場は暑いほどの熱気に包まれ、人生初のサルサを楽しめました。子どもの頃からダンスが大好きだったというフリオさん。さまざまなコンテストで入賞したほどの実力で、これまでたくさんの生徒さんにサルサを教えたきた広島サルサ界のパイオニアでもあります。「ダンスはもちろん、スポーツや日常生活でも、リズム感、はとつても大切。リズムに乗ればサッカーも掃除も、どんなことでもスムーズにできるし、ストレス解消にも最高なので、もっとたくさんの人にサルサダンスを広めたい」と、熱い思いを持っておられます。



チチカカ湖やマチュピチュなどペルーについての話に耳を傾ける参加者の皆さん



戸惑いながらダンスに挑戦する皆さん。いつの間にか笑顔の輪が広がっていました

フリオさんの教室には、80歳を超える生徒さんもいらっしやるとか。「上達よりも、曲に合わせてリズムにのって楽しんで、みんなが幸せになれば、それが一番」と、週末ごとに各地を飛び回ります。そんなフリオさんも、日本に来た当初はボランティアには縁がないと思っていたそうで、「広島に来てボランティアをしている人に出会い、『日本人ってすごい』と思いました。でもよく考えると、子どもたちにバスケットボールを教えたり、大学でスペイン語を教えたりにしていたのもボランティアだったんですよね」という自然体での活動スタイルが、フリオさんが多くの人に愛される秘密のような気がします。家庭では一児の父親であるフリオさん。これからもスポーツの素晴らしさを子どもたちに伝えたいという夢があります。「ダンスもバスケットも、みんなが楽しんでくれることで、私が一番幸せになれる。だからもつという人んな人と出会いたいですね」という人懐っこい笑顔が印象的です。

Information

ボランティア人材バンクでは、「仕事や学習、趣味などで得たノウハウを生かして、ボランティアで依頼団体に助言や指導、さらには技の披露などを行う人」を登録しています。生涯学習やまちづくり活動には、ぜひ「まちづくりボランティア人材バンク」をご活用ください。「お役に立ちたい」「教えて欲しい」などの皆さんの声をぴったりコーディネートいたします。気軽にご相談ください。

紹介申込・登録申込などの問合せは…

まちづくり市民交流プラザへ ☎545-3911 ☎545-3838

まちづくりボランティア 人材バンク

音楽には、心を揺り動かすものがあります

わたなべくみこ よしおかみさこ
渡辺久美子さん・吉岡美沙子さん

二人が知り合ったのは約40年前の「広島市民交響楽団（現 広島交響楽団）」。出身大学は広島・東京と違いますが、卒業後、広島市民交響楽団で知り合い、意気投合。それから、親友として長い付き合いが続いています。



演奏曲目の中には「千の風になって」「冬のソナタ」の主題歌など、ヒット曲も多数

に2〜3回程度。場所は公民館・幼稚園・教会など幅広く、特に福祉施設が多いそうです。「私たちはずっとバイオリンを弾いてきましたから、バイオリンでお役に立ちたいと思ったんです」。

渡辺さんも吉岡さんも、バイオリン歴は半世紀以上。吉岡さんの場合は両親が好きだったのと、近所に教える人がいたこと。それに、当時はバイオリンがはやっていたといえます。「私たちの子どもの頃は、まだピアノが一般家庭にはあまりなくて、高価な物というイメージでした。だったらバイオリンが手頃じゃないか（笑）」というのもあって。始めるきっかけは人それぞれですが、お二人が声を合わせて言うバイオリンの最大の魅力は「表現力が豊かである」こと。「あるTV番組で、安い弦楽器と何億円もする弦楽器を演奏し、どちらが高い弦楽器の演奏か当てるというものをやっていたのですが、プロの方は聴き分けることができるのでしょいか？」という問いに「私も分からなかったです（笑）。上手な人が弾くと安い楽器でも、とてもいい音が出るんです」と渡辺さん。やはり、楽器の音色の美しさというのは演奏者の技術や表現力にあるのだと、改めて気づきました。

二人が今まで活動をしてきた中で印象に残ったことは、心身に障害のある子どもたちがいる施設での演奏です。



フランス料理店で行われた「介護者の交流事業」。笑顔あり、感動の涙ありの素敵な演奏会でした

様子を見て、とても感動したそうです。取材した会場に来られている皆さんの中には、涙を流されている人、口ずさむ人が何人もいました。渡辺さんは「涙が出るということは、感情が豊かということ。皆さんに気持ちを込めて弾きたいという思いは常に持っていますから、私たちの演奏で感動してくださるのとはとてもうれしいことです」とおっしゃいました。やはり、音楽の力は凄いなと思わずにはいられません。「言葉が通じなくても音楽で気持ちが通じる」「音楽は国境や民俗を越える」そう話すお二人の言葉を、とても重みのあるものに感じました。



渡辺さん(左)と吉岡さん(右)。二人ともオーケストラや出身校で今も演奏しています

まちづくりボランティア
人材バンク発表会

登録者が自らの達人ぶりを披露します。参加は自由ですので、気軽にお立ち寄りください。
日時…毎月第4土曜日
午後2時〜4時
場所…南棟1階ロビー
参加費…無料

開催日	テーマ	出演者
4月26日	算名学(古い)を通じ心豊かに生きる 首・肩・背中をほぐして心を楽にするミニ講座	香川 裕嬭さん 宇治木敏子さん
5月24日	ちょっと知っておくと得するラッピング お手玉で遊ぼう	Flower Color Wrapping 夢優花 宗光 弘嗣さん
6月28日	心に響くお箏コンサート ハーモニカを楽しむ〜童謡から演歌、ポピュラーまで〜 あなたの食生活を見直してみませんか	専徳院知子さん 佐々木著とヒロシマ・ハーモニカン・ファミリー 近藤フミエさん
7月26日	中高年のための健康運動	青江 孝信さん

※テーマ等変更になる場合があります。

らしつく 情報の森

イベント

季海波二胡演奏団 二胡コンサート〜豪華春宴〜

心に語りかける音色の豊かさと表現を穏やかな春の息吹とともに…。千年以上の歴史を持つ中国の民族楽器『二胡』。今回は二胡と津軽三味線、モンゴル舞踊との共演という多彩なコンサートをどうぞお楽しみください。

▼日時＝4月5日(土)午後1時30分開演(午後1時開場)

▼場所＝広島県民文化センター

▼共演＝村上三絃道広島支部(津軽三味線・ボルジゲン烏日(モンゴル舞踊))

▼入場料＝前売券1000円(当日券1500円)全席自由

▼問合せ＝季海波二胡演奏団 ☎080・5085・5816

▼Eメール＝jihabo@ki-kaiha.com

「水の都ひろしま」 春の水辺のコンサート 〜水辺を吹き抜けるさわやかな春風の中で素敵な音楽を〜

水辺のコンサートは、水辺の魅力を生かしたまちづくりを進めている「水の都ひろしま」づくりの一環として、毎年春と秋に開催しています。この春は、ポプス、クラシック、フラメンコなど多彩なジャンルの音楽が楽しめます。6月7日には中学・高等学校吹奏楽部などによる「水辺の吹奏楽フェスティバル」も予定。屋外演奏のため、天候により開催が延期や中止になる場合があります。日時や出演アーティストなどは、広島市HPなどで事前にお確かめのうえご来場ください。

▼日時＝4月6日、13日、20日、27日、5月11日、18日、25日、6月1日、15日、22日、29日(日)、



水辺のコンサート(原爆ドーム南側河岸緑地)

6月7日(土)正午〜午後4時(予定)

※雨天中止。6月7日(土)「水辺の吹奏楽フェスティバル」のみ翌日に順延。

▼場所＝原爆ドーム対岸親水テラスまたは原爆ドーム南側河岸緑地

▼問合せ＝水の都ひろしま推進協議会(広島市役所観光交流部交流課内) ☎082・504・2676 FAX082・504・2253

(広島市HP↓まちづくり↓「水の都ひろしま」の推進↓「水の都ひろしま」水辺のコンサートをクリック)

ITC安芸クラブ オープン例会

ITC(インターナショナルトレーニング イン コミュニケーション)とはニュージランドに本部がある国際的な教育・訓練機関で、全国に85、広島市内に2つのクラブがあります。「スピーチ」「会議の進め方」などを月一回の例会で勉強しています。このたび、一緒に勉強する仲間をさらに増やそうと、安芸クラブがオープン例会を開催します。一度見学にいらつしやいませんか。

▼日時＝4月11日(金)、5月9日(金)いずれも午後1時30分〜3時30分

▼場所＝広島アンデルセン6階デนมールーム(広島市中区本通7-1)

▼参加費＝無料

▼申込・問合せ＝ITC鴛田孝子さん ☎FAX082・255・3395

ひと・まち広島未来づくり ファンドHm2(ふむふむ)

第5回助成団体最終活動発表会&第6回助成団体公開審査会

市民の皆さんの自主的なまちづくり活動を助成する基金、ふむふむ。広島未来をつくる、魅力あふれる活動を応援してみませんか？

▼日時＝5月10日(土)最終活動発表会…午前10時〜正午、公開審査会…午後1時〜5時30分(予定)

▼場所＝まちづくり市民交流プラザ北棟4階ギャラリ

▼内容＝平成19年度助成団体の成果発表と平成20年度公募でエントリーした団体の公開審査

▼問合せ＝(財)広島市ひと・まちネットワーク事務局事業係 ☎541・5335

みんなで参加しよう太田川について考えるフォーラム 〜街づくりと土木の役割〜

太田川の環境について一緒に考えてみませんか。安全で快適な生活や美しく豊かな国土を守る土木技術の方向性をみんなで議論してすばらしい太田川をつくっていきましょう。

▼日時＝5月30日(金)午後2時30分〜5時30分

▼場所＝アステールプラザ

▼参加費＝無料

▼内容＝①講演会「太田川からみた広島の街づくり」②パネルディスカッション「太田川を考える」環境と市民生活」③図画コンクール表彰式

▼申込・問合せ＝土木学会中国支部・〒730-0011中区基町10-3自治会館内 ☎222・2376 FAX222・2496

▼URL＝http://www.jscc.or.jp/branch/chugoku/

講座 セミナー

職場定着支援講座〜職場で気持ちよく働くために〜

コミュニケーション、ビジネスマナーの力をつけて、自分らしく働くためのキャリアアプランをつくります。

▼日時＝4月12日(土)午前10時30分〜午後4時30分

※5月から9月まで毎月第2土曜日(午後1時30分〜4時)に5回講座を実施予定

▼場所＝エソール広島2階活動交流支援センター

▼対象＝新たに就職した人、就職や再チャレンジを考えている人(先着15人)

▼内容＝①自己分析〜心のクセ・

対人関係のクセに気づく②自分力をつける〜ビジネスマナーとコミュニケーションを楽しむ学③ワンランクアップの自分へ。未来の自分のために今を生きる

▼参加費＝1500円

▼主催＝キャリアデザイン研究所

▼申込・問合せ＝(財)広島県女性会議 ☎242・5262

「まちづくり市民交流フェスタ」 参加団体による講座・ワークショップ

■5月17日(土)開催
子どもたちを正しい食習慣で健康にしよう

家庭における食育、楽しい食事をするコツを学びます。

▼時間＝①午前10時30分〜12時30分②午後2〜4時

▼参加費＝500円

▼対象＝幼児・小学生を持つ保護者(先着各60人)

インプロ・ゲーム(即興遊び)トライアル

即興演劇の基本を体系化したインプロ・ゲームの体験を通して人間関係向上のヒントを学びます。

▼時間＝午前10時30分〜12時30分

▼対象＝18歳以上の人(先着10人)

まちづくり、市民活動、NPOのためのお役立ちツールスキルアップ講座

市民活動に役立つファシリテーションの手法などを学びます。

▼時間＝午前10時30分〜午後5時

▼参加費＝500円

▼対象＝どなたでも(先着20人)

■5月18日(日)開催
広島一やさしい問題解決の授業

身近な人間関係、組織の問題な

どの解決法をワークショップ形式で学びます。

▼時間＝午前10時〜午後1時

▼対象＝どなたでも(先着30人)

開発教育ワークショップ

〜ティフ星人はパセリを食べる〜

植民地支配の歴史と先住民の権利について、マレーシアのサラワクの事例を通して学びます。

▼時間＝午前10時〜午後3時30分

▼参加費＝500円

▼対象＝どなたでも(先着40人)

親子で一緒に学ぶ、コミュニケーション講座

▼時間＝午前10時30分〜午後2時30分

▼内容＝子どもたちが自ら体験を通してコミュニケーションを学びます。

▼参加費＝500円

▼対象＝3〜9歳の子どもと保護者(先着10組)

▼場所＝いずれもまちづくり市民交流プラザ

▼申込・問合せ＝5月13日(火)までに同プラザへ申込み ☎545・3911 FAX545・3838

募集

第21回全国健康福祉祭 (ねんりんピック)

広島市予選会参加者募集!

ねんりんピックは、60歳以上の

方々を中心とした健康づくりや生きがいづくりの高揚、社会参加の促進を目的としたスポーツ、文化、健康と福祉の総合的な祭典です。

今年は10月25日(土)〜28日(火)に鹿児島県で開催されます。この予選会を次の通り行います。

競技種目	予選会日時
①太極拳	4月17日(木) 9:00
②弓道	4月29日(火・祝) 10:30
③ゴルフ	5月 6日(火・休) 8:10
④水泳	5月11日(日) 11:00
⑤マラソン	5月17日(土) 9:00
⑥ソフトテニス	5月18日(日) 9:00
⑦ソフトバレーボール	5月18日(日) 9:00
⑧卓球	5月22日(木) 9:00
⑨ウォークラリー	5月24日(土) 10:00

▼対象＝広島市在住で60歳以上の人昭和24年4月1日以前に生まれた人※②③⑤⑥⑧については、前年の大会で同じ種目に参加した人は参加できません。

▼会場＝①中区スポーツセンター②県立総合体育館弓道場③瀬野川カントリー倶楽部④県立みよし公園温水プール⑤広域公園陸上競技場⑥中央バレーボール場⑦安佐南区スポーツセンター⑧東区スポーツセンター⑨尾道市びんご運動公園※参加費、事前申込みが必要で

す。詳しくはお問合せください。

▼問合せ＝広島市全国健康福祉祭参加実行委員会事務局(財団法人広島市ひと・まちネットワーク事務局内) ☎541・5335

FAX541・5611

ひと・まち広島未来づくり ファンドHm2(ふむふむ) 寄付のお願い

ひと・まち広島未来づくりファンドは、市民・企業・行政などが力を合わせて、市民のまちづくり活動を支えていこうという基金です。私たちの住む広島のまちをよりよくしていくために、多くの皆さまからの寄付をお願いします。

(振込先)

広島銀行 広島市役所支店

別段預金 No30000017

口座名義＝公益信託広島市まちづくり活動支援基金寄付金受入口

▼問合せ＝(財)広島市ひと・まちネットワーク事務局事業係 ☎541・5335

助成

広島県子ども夢基金

子どもたちが大きな夢をもって健やかに成長するためには、県民一人ひとりが身近なところで教育に関わって県民総参加のもとで育成することが必要であると考え、平成13年5月5日、(財)ひろしまこども夢財団に「広島県子ども夢基金」を設置しました。これまでの取組みとして、県民の皆さまからの募金額が、平成19年10月10日に3000万円を突破し、536

のサークル・グループ(平成20年2月末現在)の活動に対して、3000万円余りの支援をしています。

▼内容＝県民の皆さまからの寄付金をもとに自然体験・読書・ボランティア・国際交流・スポーツ・文化活動など、子どもたちの夢を育むさまざまな活動に対して原則30万円を上限に助成をします。

▼応募方法＝所定の申請書に必要事項を記入し、広島県教育委員会生涯学習課に提出してください。

▼応募締切＝6月以降に実施する事業…4月30日(水) 11月以降に実施する事業…9月30日(火) 平成21年3月以降に実施する事業…平成21年1月30日(金)

▼申込・問合せ＝広島県こども夢基金(広島県教育委員会生涯学習課)…〒730-8514中区基町9-42 ☎513・5013

▼URL＝http://www.pref.hiroshima.lg.jp/kyoiku/gakushu/yumekimu/top.htm

広島県こども夢基金は、賛同してくださった方や企業等の寄付で成り立っています。子どもたちの夢を育むために、多くの協力をお願いします。

広島県こども夢基金

